

# 平成24年度予算編成に関する要望書

平成23年7月

社団法人 全国乗用自動車連合会  
会 長 富 田 昌 孝

平素は、タクシー事業に対しまして、格別なるご指導、ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。

タクシー事業は、資本金1億円以下の事業者が99%(1千万円以下82%)を占める等、経営基盤の脆弱な中小事業者であり、マイカーの普及、地下鉄等の都市交通網の整備、地方の人口減少、長引く景気低迷等により、ついに一車当たりの営業収入が30年前の水準にまで減少する等、極めて厳しい経営環境にある中、一昨年10月に施行された「特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」に基づき、全国156の特定地域のタクシー事業者は、それぞれの協議会の議論を踏まえ全力を挙げて事業の適正化・効率化とタクシーサービスの活性化に取り組んで参りました。

しかしながら、本年3月に発生しました東日本大震災の影響は、これまでの取組みによる効果を遥かに上回るものであり、被災地以外の地域においても輸送需要は急激に減少し、営業収入はかつて経験したことが無いほど落ち込み、全国的に経営環境は危機的な状況にあります。

今後も法人タクシーが利用者ニーズに応じて安全・安心に加え質の高いサービスを提供し、公共交通機関としての使命を達成できるよう、また公共交通機関として被災地の一日も早い復旧・復興に資することができるよう、平成24年度の予算編成に当たり、別紙のとおり要望いたしますので、事情ご賢察の上、何とぞご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## **東日本大震災に係るタクシー事業の復旧対策等**

被災したタクシー車両及びタクシー事業施設の復旧のために要する資金について助成措置を創設する等、被災地におけるタクシー事業者に対する支援措置を強化されたい。

## **地域公共交通であるタクシー事業の維持・再生、活性化**

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金を継続されるとともに、補助の拡充及びタクシー事業者が活用しやすい仕組みにされたい。
- (2) 本年7月1日に公表された「地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発報告書」に示されたガイドラインに適合するユニバーサルデザインタクシー及び乗合タクシー、また「公共交通移動等円滑化基準」に適合する福祉タクシーの開発支援の予算措置を講じられたい。
- (3) 上記のほか、タクシー事業の適正化及び活性化をより一層推進するための方策について検討を進められ、必要な支援制度の拡充・強化に取り組まれたい。

## **タクシー事業の環境対策**

(1) 低公害車普及促進等対策費補助事業（ハイブリッドタクシー及び電気自動車タクシー）

⇒予算額を大幅に拡充されたい。

(2) タクシー用LPGハイブリッド車の車両開発及び燃費基準を上回るLPGエンジンのシステム開発を促進するよう予算措置を講じられたい。

(3) 電気自動車タクシーの充電設備等、インフラ整備について予算措置を講じられたい。

## **タクシー事業の安全対策**

総合安全プランに掲げる事故削減目標を達成するため、平成22年度に創設された事故防止対策支援推進事業については、予算額を大幅に拡充されたい。

## **財投関係**

タクシー施設整備（ユニバーサルデザインタクシー、リフト・スロープ付きタクシー）に係る財政投融资制度（社会環境対応施設整備資金）について特別利率の復活を図られたい。